

合志市総合計画

「第2期基本計画」の策定にあたって



合志市長
荒木 義 行

合志市は、平成18年2月に合志町と西合志町が合併し、住環境と生活基盤が整った、多くの企業が立地する元気な都市として発展を遂げています。

しかしながら、地方を取り巻く状況は年々厳しさを増しています。国による三位一体の改革に始まり、リーマンショックを契機とした世界的金融危機による日本経済の冷え込みは、地方交付税の削減や市税収の落ち込みなど、本市の財政にも深刻な影響を与えています。

このような状況は、本計画の策定にも大きく影響を与え、経済の成長に伴い多様化・増大化してきた行政需要のすべてには応じきれなくなっています。これからは、市民の皆様と共に創意工夫をもって、限られた財源を効率的かつ有効に活用し、情報開示と議論を前提に、優先順位を定めて事務事業を選択していかなければなりません。

このような中、平成23年度から平成27年度までの5年間に取り組む『施策』の内容を示す「第2期基本計画」を、第1次基本構想の後期計画として策定いたしました。

この計画は第1次基本構想に掲げた**人と自然を大切にした協働によるまちづくり**を基本理念としています。また、本年4月施行の「**合志市自治基本条例**」にも定められている、市民、市議会、市の執行機関の役割の明確化によって、参画と協働によるまちづくりに取り組むこととしています。そして、国・県・他市町村との連携を通じ、未来に誇れ次世代に引き継ぐことのできるまちづくりを目指しながら、将来像である**未来輝く 産業・定住拠点都市**の創造に向けて取り組んでいきます。また、市の横断的課題であり、定住の促進につながる**子育て支援日本一のまちづくり**の考え方をあらゆる施策に関連付けるとともに、地域ぐるみの支援体制を整えることにより、安全で安心に感じることができ的事业の展開を図っていきます。

本計画は、第1期基本計画の実績を踏まえながら、検証し尊重するとともに、私のローカルマニフェストのビジョンでお示しした「**健康都市こうし**」への取り組みも検討に加え、合志市の新しいまちづくり指針として数値目標を設定し練り上げたものです。市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたりまして、市民意識調査にお答えいただき指標の設定や身近な課題、意見の提供にご協力いただいた市民の皆様、そして慎重審議にご尽力をいただきました合志市総合政策審議会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見やご提言をいただきました市議会、関係機関の皆様に対し、心からお礼を申し上げますとともに、第2期基本計画の具体化につきましてもよりいっそうのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。